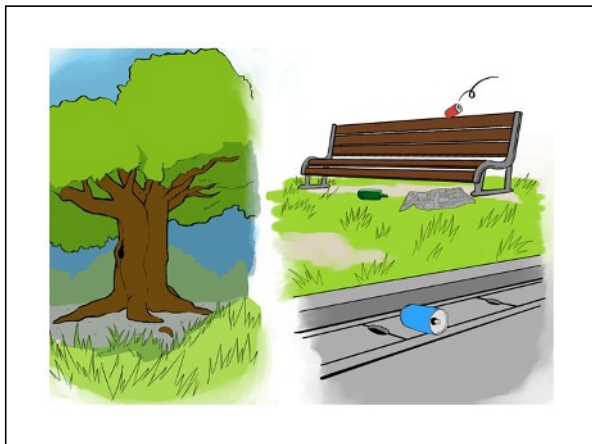


～『割れ窓理論』～



この割れ窓理論は、建物だけではありません。

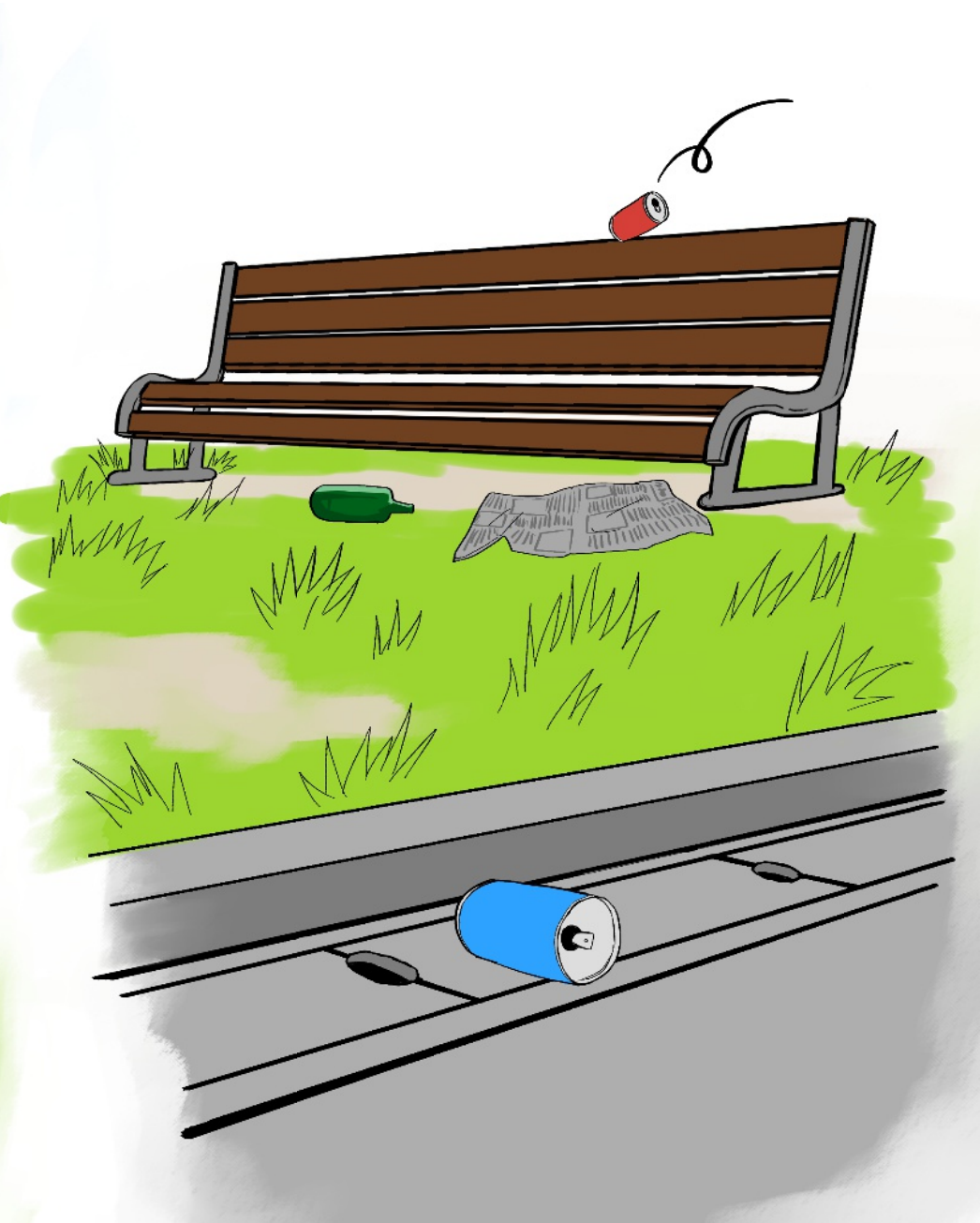
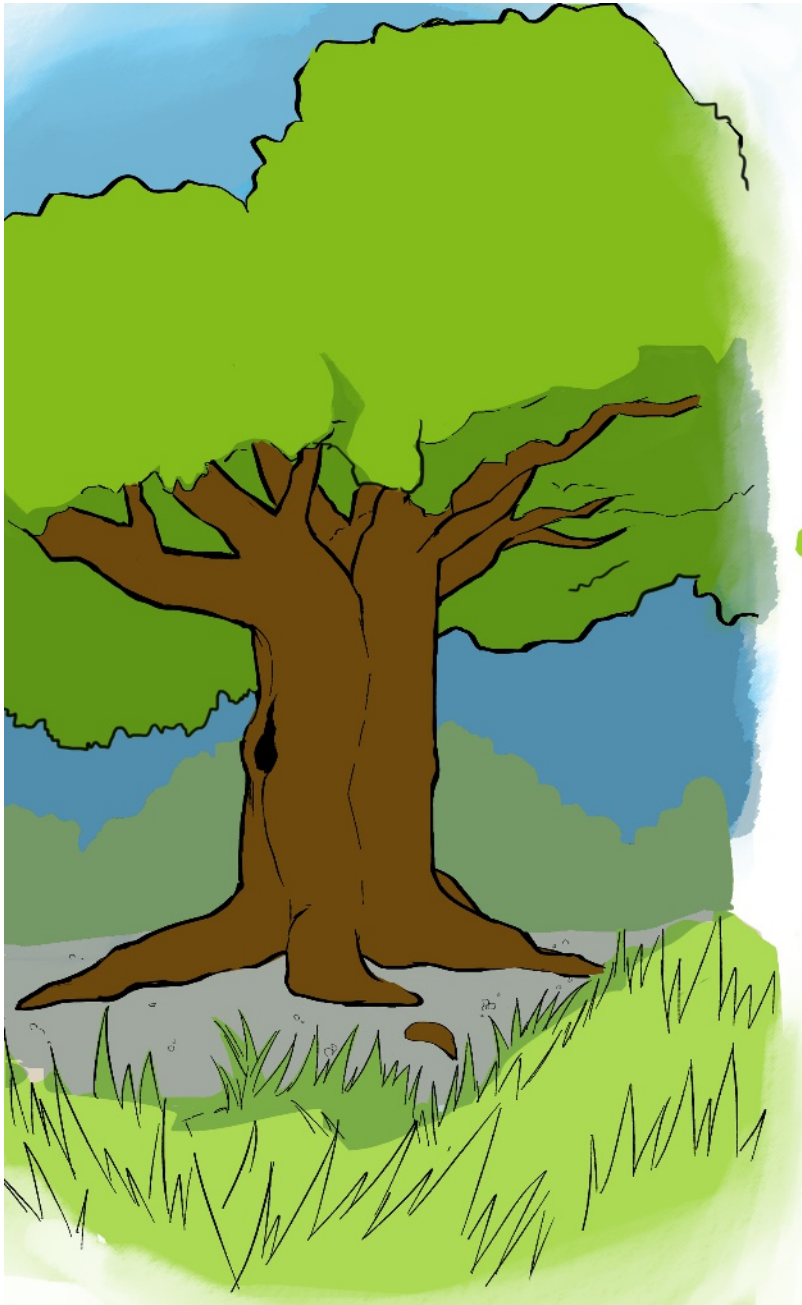
例えば、草が生い茂っていたり、  
薄暗い場所は、入りやすく隠れやすい、  
犯罪が起きやすい雰囲気になってしまいます。

ゴミが多い場所も、犯罪の起こりやすさと関係があります。

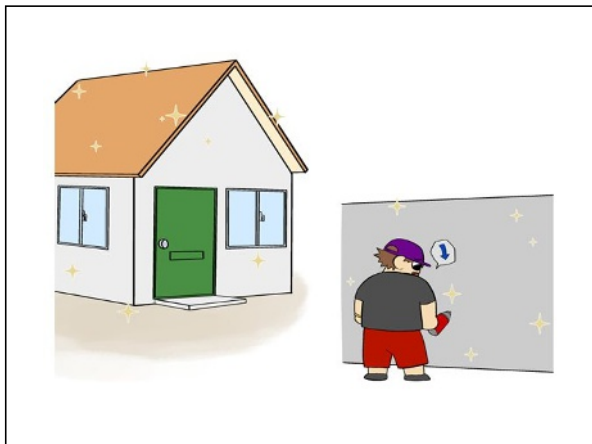
道路や公園など、ゴミが落ちていませんか？

ゴミがある場所には、次のゴミが捨てられやすくなってしまいます。





～『割れ窓理論』～



次の犯罪を起こりやすくしてしまう「割れ窓理論」をよく理解して  
犯罪を未然に防ぎましょう。

また、パトロールの際には、そうした視点を持って、まちの中を観察すると  
より効果的なパトロール活動になります。

割れた窓はすぐに直しておきましょう。

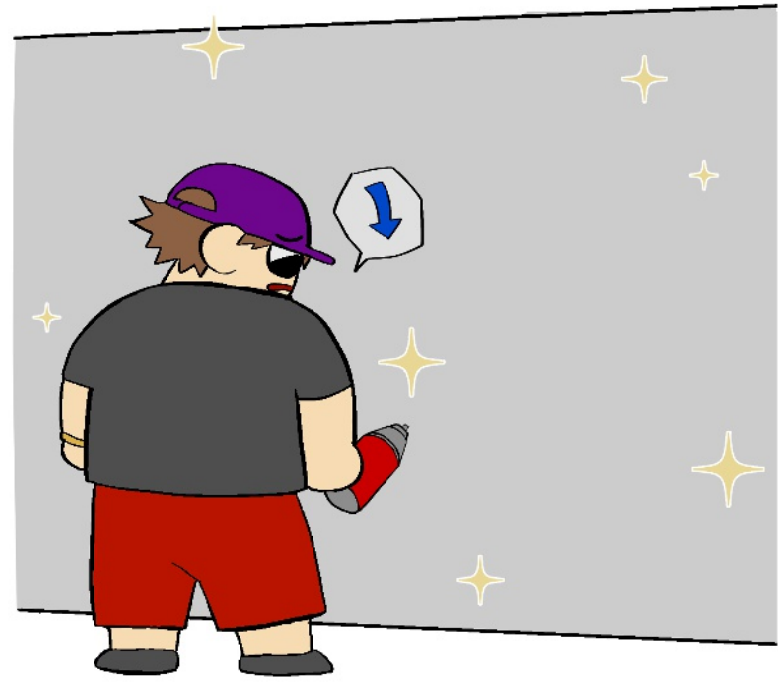
整理整頓。

家のまわりをキレイにしておくことは、放火や空き巣などを防ぐことにもなります。

落書きもすっかりなくなりました。

落書きが一切ない壁には、誰も落書きをしなくなりました。





～『割れ窓理論』～



道路や公園など、  
まちのみんなで使う場所はみんなで  
キレイに保てると良いですね。

雑草も刈られて、ゴミも無くなった公園。  
皆さん楽しく過ごされていますね。

草が伸びていたり、ゴミが落ちている場所は  
次の犯罪へと繋がってしまうかもしれません。

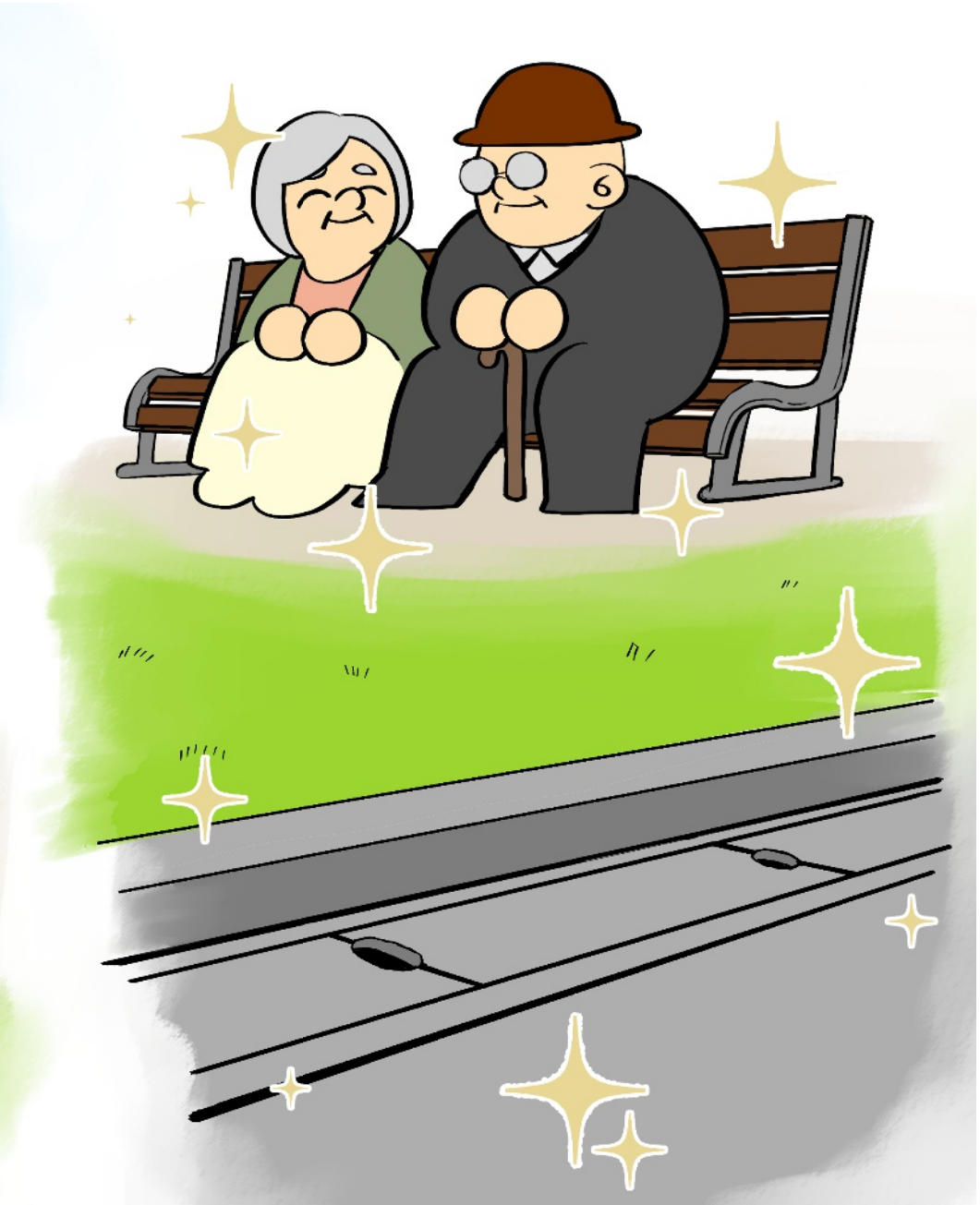
その『種』が小さなうちから、  
みんなで対策すると、  
犯罪のない、安全・安心なまちになっていくかもしれませんね

『割れ窓理論』、ちょっと意識してみてください。

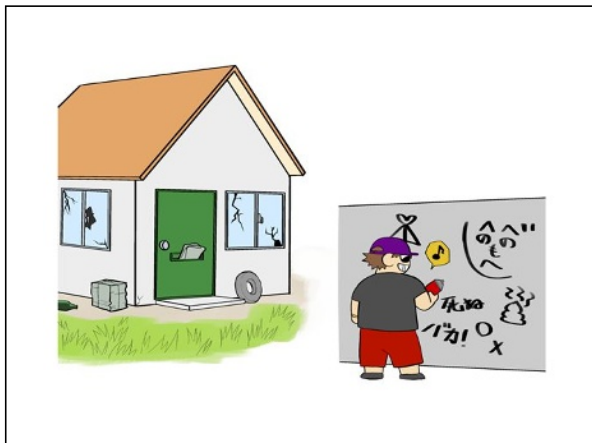
おしまい、おしまい。







～『割れ窓理論』～



犯罪が起こりやすい場所として  
『割れ窓理論』という考え方があります。

窓ガラスが割れていて、  
そのまま放置していると、  
次の犯罪が起こりやすい場所となります。

『落書き』の例も分かりやすいです。  
落書きをされている場所は  
また次の落書きをされてしまいます。

このように、  
荒れている場所は、  
犯罪が起こりやすくなります。

